

令和 6 年度 児童発達支援センターバンビ事業報告

1 基本方針

児童発達支援センターバンビは、「児童一人ひとりに対する丁寧な「根拠」ある療育」、「南区の中核的療育支援センターとしての役割」、「福祉施設としての地域への貢献」を理念とし、療育基本指針を策定して児童発達支援に努めた。また相模原療育園発達外来、診療部リハビリテーションと連携を図り、園児の発達を促す取り組みを実施した。付帯事業である保育所等訪問支援事業については、契約園児の所属する保育園、幼稚園、こども園に訪問し、障害特性による個別的配慮やアドバイス等を行い、十分に連携を取ることができるよう支援に努めた。

2 児童発達支援

1) 概要

児童発達支援は、毎日通園・週一通園（保育園、幼稚園、こども園との並行通園で週に一回一日）の混合が 5 グループで行った。園児数は 4 月に毎日通園 36 名、週一通園 26 名、計 63 名の在籍となった。

療育時間は、10 時～14 時 30 分とし、年度初め（4 月 2 日）夏休み（8 月 13 日・14 日・15 日）年末年始（12 月 28 日～1 月 5 日）と年度末（3 月 29 日～31 日）以外は通園を実施した。

療育は、バンビの理念に基づいた療育基本指針「地域で自分らしく生活するために、乳幼児期から基本的な生活習慣を身につけられるように、保護者の方と共に療育を行う」「小集団の良さを活かしながらいろいろな環境への適応力を育て、生活力を養う」「一人ひとりの支援計画を作成し、相模原療育園の医療スタッフと連携しながら、全職員と保護者の方と力を合わせて発達を促す関わりに取り組む」に沿って実施した。

2) 毎日通園

(1) 園児数

きりん組 7 名、くま組 7 名、うさぎ組 7 名、らいおん組 8 名、りす組 7 名の計 36 名であった。（4 月 1 日現在）

【年齢別内訳】

	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
男児	0	0	8	8	13
女児	0	0	2	2	3
計(名)	0	0	10	10	16

(2) 個別支援計画

保護者との面談を年 3 回実施し、意向・要望などの意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成、実施、評価を行った。

(3) 療育プログラムなど

①日々の活動を充実して実施できるよう療育指導計画(月案、週案)を作成した。小集団の中で子どもの障害特性に配慮し、様々な遊びや課題を通して運動能力、認知能力、社会性など、総合的な発達を促し、能力を引き出すことで、できることの喜びを感じたり自信をもつことにつながったりする療育活動を行った。

- ②一人ひとりが基本的生活習慣を身につけ、身の回りのことができるように支援した。
- ③行事は季節の行事や伝統行事を大切にし、感性豊かな育みを目指した。今年度実施した行事は以下の通りである。

- ・ 4月 2日 入園式、始業式
- ・ 7月 5日 たなばた
- ・ 7月 22日 夏祭り
- ・ 10月 7日 園外療育※1
- ・ 10月 28日 運動会※2
- ・ 12月 25日 クリスマス会
- ・ 1月 27日 おたのしみ会※3
- ・ 2月 3日 節分、豆まき
- ・ 3月 3日 ひなまつり
- ・ 3月 11～14日 卒園セレモニー
- ・ 3月 28日 卒園式、終業式

※1 園外療育 バンビ毎日通園児全員で麻溝公園での遠足

※2 運動会 年齢別で実施 AM:年中、年少 PM:年長

※3 おたのしみ会 1月 27日年齢別で実施 AM:年中、年少 PM:年長

○相武台保育園との交流活動（さくらんぼ交流）については、

- ・ 5月 30日 バンビ園庭遊び
- ・ 10月 15日 バンビ園舎内での集団遊び
- ・ 11月 5日・6日・12日・27日『さがみはらんど（相武台保育園）』に
バンビ園児参加
- ・ 12月 10日 相武台保育園 園庭ミニ運動会
- ・ 2月 10日 バンビ園舎内での交流

- ④栄養管理計画に基づき、子どもにとって最も相応しい食事計画の立案と、一人ひとりの摂食能力・状態に合った食事形態を工夫するために、委託業者と1か月に一度「給食会議」を開いた。必要に応じて環境の設定や摂食の評価をし、支援につなげた。
- ⑤毎日通園卒園児は地域の小学校の特別支援学級11名、県立相模原支援学校小学部への就学5名を合わせて16名であった。卒園式は3月28日午前中に行った。

（４）健康管理

園児の成長及び健康管理の把握のため、毎月の身体測定と年2回の内科、歯科健診を実施した。

春の健康診断 内科 5月 15日 歯科 5月 22日

秋の健康診断 内科 11月 20日 歯科 11月 6日

（５）保護者支援

- ①療育参観・懇談会や行事への参加及び子育て講座、ペアレントトレーニングや相談等を実施した。
- ②保護者からの相談は随時受け付け、困りごとや悩み等は職員（園長・児童発達支援管

理責任者・担任）及び『Dr. 細田の育児相談』、吉田臨床心理士による相談などに応えられるようにした。

3) 週一通園

(1) 園児数

週一通園 26 名の受け入れで療育を行った。(4 月 1 日現在)

【年齢別内訳】

	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
男児	0	0	7	7	5
女児	0	0	3	4	0
計(名)	0	0	10	11	5

(2) 個別支援計画

保護者との面談を年 3 回実施し、意向・要望などの意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成、実施、評価を行った。

(3) 療育プログラムなど

①日々の活動を充実して実施できるよう療育指導計画(月案、週案)を作成し、小集団の中で子どもの障害特性に配慮し、様々な遊びや課題を通して運動能力、認知能力、社会性など、総合的な発達を促し、能力を引き出すことで、できることの喜びを感じたり自信をもつことにつなげたりする療育活動を行った。

②一人ひとりが基本的な生活習慣を身につけ、身の回りのことができるように支援した。

③季節の行事や伝統的な行事を大切に、感性豊かな育みを目指した。今年度実施した行事は以下の通りである。

- ・ 7 月 5 日 たなばた
- ・ 12 月 25 日 クリスマス会
- ・ 2 月 3 日 節分、豆まき
- ・ 3 月 3 日 ひなまつり

④栄養管理計画に基づき、子どもにとって最も相応しい食事計画の立案と、一人ひとりの摂食能力・状態に合った食事形態を工夫した。また、必要に応じて環境の設定や摂食の評価をし、支援につなげた。

⑤卒園児は地域の小学校への就学（特別支援学級と通常の学級合わせて）が 5 名であった。週一通園卒園児は最後の登園日にクラスの仲間に祝福されて、保護者同伴で園長より卒園証書の授与が行われた。

(4) 健康管理

園児の成長及び健康管理は所属園に依頼し、必要に応じて連携をとった。

(5) 保護者支援

①保護者は毎月、療育参観・話し合い、子育て講座やペアレントトレーニングや相談等

を実施した。

- ②保護者からの相談は随時受け付け、困りごとや悩み等は職員（園長・児童発達支援管理責任者・担任）及び『Dr. 細田の育児相談』、吉田臨床心理士による相談などに応えられるようにした。

4) 各通園形態共通

(1) 相模原療育園発達外来との連携

療育、医療交流モデルの構築の中核事業として、相模原療育園診療部リハビリテーションとの定期的な連携を図り、療育の場面での効果的なサポートを受けた。また発達外来医師と看護師、リハスタッフ、バンビ職員と一緒にバンビ療会議（バンビと相模原療育園担当者会議）をリモート開催で情報交換等を行なった。

さらに、統括施設長である細田先生のお力をお借りして、保護者の悩みを具体的に相談できる『Dr. 細田の育児相談』を開催させていただくことができ、保護者の安心に繋がった。また、子どもたちの状況を確認し、保護者の相談に応じるために臨床心理士による相談日を毎月2回ずつ設定し、保護者への周知も図った。

【リハスタッフ・訪問実績】

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
OT 1名	OT 1名	OT 1名 PT 1名		OT 1名	OT 1名 PT 1名	OT 1名		OT 1名

OK【臨床心理士訪問実績】各月の日にちを記載

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15, 26	14, 30	12, 21	1, 18	5, 23	10, 20	9, 17	5, 13	2, 20	8, 17	6, 18	3, 12

【Dr. 細田の育児相談】

10月	11月	12月	1月	3月
29日	12日	10日	6日	3日
1名	2名	1名	1名	

(2) 保護者支援

家庭生活での困り感や対処方法及び障害理解等について随時相談を受け付け、保護者の困りごとや悩み等に応えた。もう少し保護者間での話し合いを取り入れる機会を作りたいかったが、感染症対策や準備の都合上十分な取り組みができなかった。

(3) 衛生管理

園内の美化に努め、衛生管理を徹底し、感染症予防の研修を園内で実施した。

また園児、職員及び近隣における要救護者に対する応急処置に対応するため、AEDの利用方法も周知した。

(4) 事故防止

園内の備品、危険個所を常にチェックし、事故防止に努めた。また事故発生時は

マニュアルに沿った対応を実施した。

(5) 出席率

各通園の出席率は次のとおりである。

・毎日通園

単位：％

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
出席率	85.69	83.78	89.46	84.52	76.73	91.89	84.89
月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年平均	
出席率	87.31	85.77	83.95	88.33	88.42	85.90	

・週一通園

単位：％

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
出席率	84.62	83.78	90.17	81.05	76.32	83.55	79.71
月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年平均	
出席率	79.58	75.52	86.12	80.20	78.38	81.58	

3 障害児相談支援

陽光園と連携して3回のシリーズで子育て講座が開催された。就学に関する質問や日常の育児についてなども随時相談に応じる体制を設けた。ペアレント・トレーニングを開催し、家庭での育児方法や就園・就学先等の個々の相談には、各クラス担任等が対応した。また、保護者同士で連携をとるために、「おしゃべり会」を設定し、日常的なお話をお互いに語り合える場を作った。

○子育て講座（全3回）

保護者支援の一環として、陽光園が主催していたものをバンビのニーズに合わせたバンビ主催で3回開催することとなった。

第1回 10月3日 子育てに活かす発達の理解（陽光園 心理士）

⇒顔 TV に繋がる

第2回 1月14日 小学校ってどんなところ？（園長 田中）

第3回 2月14日 心理士 吉田先生のお話（吉田心理士）

○ペアレント・トレーニング（全6回で1クールとなります）

第1クール（6月11日～8月20日）

第2クール（9月4日～11月13日）

第3クール（11月14日～1月23日）

○先輩ママのお話会

バンビの保護者が就学について知るために、卒園児保護者（特別支援学校・特別支援学級・通常の学級それぞれに通学している保護者）から5月に就学時の経験を聞く機会を設ける。録画したインタビューをYouTubeで限定公開する。

○おしゃべり会

第1回 6月18日（火） ①年長中心 6名

②ADLについて 6名

- ③その他 7名
- 第2回 9月12日(木) ①放デイ、就学、療育について 6名
②日常生活での困りごと 6名
- 第3回 12月4日(水) ①将来について、日常生活について 6名
②保護者の気分転換の方法 4名
- 第4回 2月19日(水) ①就学と日常生活について 5名
②ADL未自立に関する保護者の不安について

4 保育所等訪問支援

1) 総括

- (1) 在園児を対象とした幼稚園・こども園・保育所への訪問は、週一クラス希望家庭で契約26名(年長児5名、年中児12名、年少児9)であった。
- (2) 週一クラス在園児の訪問は原則クラス担任が行い、児発管も同行したり代わりに訪問したりした。所属園での生活の様子を観察後、所属園の担任との情報交換及び集団生活上の留意点や障害特性による個別的配慮へのアドバイスなど必要な支援を行った。その後、お子さんの園での様子や所属園の担任との話し合いの内容などを家庭へ報告を行い、所属園と連携してお子さんの成長を促すことに繋がっている。
- (3) 週一クラス在園児の所属園への訪問回数は2回程度を目標としたが、在園児の都合や所属園の行事の関係などで訪問が延期することがあった。

2) 個別支援計画

保護者との面談により意向・要望等の意見交換を行い、情報を共有してニーズに沿った個別支援計画書を作成し、計画実施後評価を行った。訪問での様子や所属園との連携の姿等を訪問後に直接保護者との連絡や話し合いで伝えることができた。

3) 訪問実績(件数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計(件)
0	0	0	6	1	12	
10月	11月	12月	1月	2月	3月	50
7	0	8	4	8	4	

5 施設地域開放・交流

学生の就職活動にもつながる学びの場として、各大学等の保育実習の受け入れを行った。保育実習前の健康状態の管理を本人並びに大学に依頼して、感染防止に最大限配慮した形で実習を行った。

【実習生等】

期 間	内 容	学校名	人 数
7月8日～7月9日	看護実習	北里大学	2名
7月10日～7月11日	看護実習	北里大学	2名

8月19日～9月3日	保育実習	鎌倉女子大学	1名
9月4日～9月20日	保育実習	昭和女子大学	1名
9月30日～10月7日	保育実習	東海大学	1名
10月17日～11月1日	保育実習	相模女子大学	2名
2月12日～2月28日	保育実習	相模女子大学	1名
3月3日～3月10日	保育実習	湘北短期大学	2名

【職業体験】

市内の中学生の勤労観、職業観を育成するとともに、生き方を考えさせる等の学習活動として、職業体験が教育課程に位置付けられている。地域の中学校の生徒に向けてバンビも体験場所として利用してもらっている。

期間	内容	学校名	人数
11月13日～11月14日	職業体験	相武台中学校	2名
2月6日～2月7日	職業体験	相陽中学校	2名

6 施設管理

1) 防火・防災

(1) 不時の災害に的確に対応するため、防災対策マニュアルに基づき月1回の避難訓練を実施し、また防災機器の点検を行った。消防署との合同訓練で、通報訓練・園児の避難・消火訓練も実施した。

通報訓練 令和6年8月29日(月) 14:40～15:00

令和6年11月26日(火) 10:50～11:00

消火訓練 令和6年8月29日(月) 14:30～15:00

総合訓練 令和6年8月29日(月) 14:30～15:00

(2) 災害時の食糧は、園児(定員40名分)、職員分として3日分備蓄した。

(3) 避難訓練、防災訓練実績

実施日	訓練想定	実施日	訓練想定
4月30日	クラスでまとまって活動中の地震・出火(昼食後)避難訓練に慣れることを目的としている	10月31日	各クラスで散歩中(若草中学校)に地震発生・避難・待機・連絡
5月29日	クラスでまとまって活動中の地震・出火(午前)二次避難を想定して、園庭に避難	11月11日	大規模災害や事件等で、バスが運行できなくなった時の対応として、引き渡し訓練の実施
6月24日	クラスが分かれて活動しているときの地震・出火(午後)	11月26日	クラスがまとまって活動している時の地震・火災テラスを通して遊戯室へ移動。消防署への総合訓練(消火・通報・避難訓練)

7月11日	クラスが分かれて活動している時の地震・出火 園舎内を通過して玄関ホールに移動	12月11日	2階で活動をしている時の地震・出火（きりん・りす）。非常階段を通過して園庭門扉前へ移動
8月26・27・28日	バス運行中の地震 バス内での安全確保と園への連絡	1月28日	2階で活動をしている時の地震・出火（くま・うさぎ・らいおん）。非常階段を通過して園庭門扉前へ移動
8月29日	通報訓練・水消火器を使った消火訓練	2月26日	静養室から出火。若草中学校へ全員避難
9月25日	クラスがまとまっている時に保護者控室から出火。 クラスごとにテラスを通過して遊戯室へ移動	3月17日	2階個別訓練室1から出火 クラスごとに適切な経路で園庭門扉前に移動

2) 防犯

不審者の侵入などに対し、防犯訓練を実施するとともに、施設内不審者侵入防止に努めた。

(1) 不審者訓練

日 時	研修・訓練	場 所
9月20日	不審者対策・相模原南警察との連携	バンビ園庭から園舎内

(2) 行方不明等事故管理対策マニュアル

昨年修正した地図の見直しを行い加筆修正した。

7 職員教育

職場内研修やケース会議を定期的に行い、また、外部研修に職員を派遣し、児童発達支援の知識、質の向上を図ることを目的とした。今年度も職場内での研修を中心にを行い療育の幅を広げるために週案作成のためのミーティングを実施し、より多くの実践を進めることができた。また、書籍の定期購入も進め、職員の研鑽の場を積むことができた。

(1) 職場内研修

月 日	内 容	参加人数
5月8日	救助袋使用・非常ベル・火災報知器・放送設備	7名
9月20日	不審者侵入訓練	9名
11月22日	AEDの扱い方・救急救命法/ 幼児安全法	9名
11月29日	感染症研修	9名
12月16日	人権・虐待研修	9名

(2) 外部研修

令和6年度の実施なし

(3) 現任研修

バンビ職員と相武台保育園との職員交流で現場研修を行うことにより、保育及び療育等の実践内容の共有と、職員の知識や技能の向上を図り、子育て支援について学びあうことを目的としている。

【相武台保育園からの交流】 9 : 00~15 : 00

7月4日(木)	石井先生	らいおん組
7月12日(金)	持丸先生	りす組
9月9日(月)	小林先生	きりん組
9月10日(火)	上野先生	くま組
11月1日(金)	石井先生	らいおん組
11月26日(火)	上野先生	くま組
11月28日(木)	持丸先生	りす組
11月29日(金)	内藤先生	うさぎ組
12月13日(金)	小林先生	きりん組

【バンビからの交流】

11月18日(月)	山田先生	もも組
11月25日(月)	尾山先生	もも組
2月17日(月)	尾山先生	もも組

相武台保育園からの研修は前期(7月4日~9月10日)、後期(11月1日~12月13日)で同じクラスに入り、どのように子どもたちが変わってきたか成長の様子がわかりやすくなるように配置させていただいた。

バンビからは相武台保育園と同じように前期と後期に分かれて同じクラスに研修に入るように進めることができた。

8 相談支援事業所アウル事業

1) 利用者状況

(1) 相談支援を利用した人数と障害種別

(単位：人)

	実人員		身体障害		重症心身障害		知的障害		発達障害		高次脳機能障害	
	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児	障害者	障害児
4月	28	26	4	1	16	5	3	4	5	16	0	0
5月	19	26	5	0	4	8	3	4	7	14	0	0
6月	21	30	2	2	12	5	3	5	4	18	0	0
7月	31	37	3	1	15	11	3	8	9	17	1	0
8月	25	41	5	0	10	14	2	7	7	20	1	0
9月	25	31	1	0	10	11	3	2	11	18	0	0
10月	24	24	5	0	12	7	4	4	3	13	0	0
11月	15	27	4	0	7	8	2	4	2	15	0	0
12月	19	31	0	1	13	7	2	4	4	19	0	0
1月	32	31	4	2	21	10	2	5	4	14	1	0
2月	26	31	4	1	12	5	1	4	9	21	0	0
3月	23	31	0	0	15	9	1	3	7	19	0	0
小計	288	366	37	8	147	100	29	54	72	204	3	0
総計	654		45		247		83		276		3	

(2) 支援方法

(単位：件)

訪問	223
来所相談	226
同行	2
電話相談	171
電子メール	0
個別支援会議等	7
関係機関	10
その他	17
合計	656

(3) 支援（相談）内容

(単位：件)

福祉サービスの利用に関する支援	619
障害や病状の理解に関する支援	2
健康・医療に関する支援	0
不安の解消・情緒安定に関する支援	0
保育・教育に関する支援	11
その他	22
合計	654

(4) 対応結果

(単位：件)

聞き取り	372
モニタリング	428
情報提供・収集	13
他機関紹介	0
同行(サービス調整)	3
代行	38
アセスメント	0
緊急対応	0
不安の解消	5
見守り・状況確認	1
連絡調整	13
その他	14
合 計	887

(5) 利用実績(支援費受領件数)

(単位：件)

	障害者			障害児		
	計画案・計画	モニタリング	計	計画案・計画	モニタリング	計
4月	25	13	38	17	17	34
5月	7	10	17	8	25	33
6月	6	20	26	10	30	40
7月	7	17	24	16	25	41
8月	6	23	29	19	26	45
9月	5	21	26	22	23	45
10月	13	15	28	14	23	37
11月	10	4	14	14	9	23
12月	8	16	24	16	11	27
1月	4	20	24	14	9	23
2月	17	16	33	15	18	33
3月	8	18	26	9	7	16
総計	116	193	309	174	223	397

2) 地域連携等

(1) 個別支援検討会議等

日 時	会 議 名	主催・場所
4月22日	支援会議	しめじ
5月5日	担当者会議	星が丘小学校
7月19日	移行支援会議	座間支援学校
7月22日	移行支援会議	座間支援学校
7月24日	移行支援会議	座間支援学校

8 月 26 日	支援会議	きらら
9 月 11 日	担当者会議	北里大学病院
10 月 18 日	支援会議	サニースポット相生ひだまり
10 月 23 日	支援会議	相模原中央支援学校
11 月 7 日	担当者会議	アウル
1 月 15 日	担当者会議	シンフォニー
2 月 8 日	支援者会議	ガンバワーク

(2) 自立支援協議会等

日 時	会 議 名	主催・場所
6 月 26 日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域活動 支援センター
8 月 28 日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域活動 支援センター
11 月 27 日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域活動 支援センター
3 月 12 日	相模原市自立支援協議会 南地区課題検討会	市南障害者地域活動 支援センター

(3) 研修等

開催月	研 修 名	実施主体	参加者
4 月 26 日	自閉症スペクトラム症や神経発達症 [発達障害]のある子どもと共に育つ	相模原市社会福祉事業団	2 名
7 月 12 日	重度訪問介護について	ユーススタイルケア神奈川	2 名
7 月 31 日	知的障害者の意思決定支援	相模原市社会福祉事業団	1 名